

# いたがく通信



発行：平成24年7月吉日 第103号

板倉学園 高田スクール 527-3533

板倉スクール 78-2458

あじさいの花が日ごとの長雨に色づいてきました。保護者の皆様方には、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。今迄の「まるく通信」のタイトルを今号から「いたがく通信」に変えました。今回からは、もっぱら板倉・高田両スクール長の合作でご案内致します。

## 期末テストを終えて……



中学生の皆さん、期末テストお疲れ様でした。達成感はどうでしょうか？

結果はどうだったでしょうか？ 勉強した分だけ力を出せましたか？

1年生ははじめての通知表の数字を決めるテスト。2年生は「中だるみ」とよく言われますが、しっかりと結果を出さなければなりません。**3年生は受験の内申点を決める重要な試験！**

保護者会でもご父兄の皆様にはお話しましたが、高校受験においては

内申点：当日本番点 = 3：7 あるいは 4：6

の比率で加味されます。3割しか加味されないからといって甘く見てはいけません。もし当日の点数が同じ人がいた場合、**内申点が高いほうが有利になります。**

4：6の高校の場合は40%が内申点で決まるのです！

その内申点にかかわる今年度の中学校学習指導要領改訂の内容を、次頁でお知らせします。

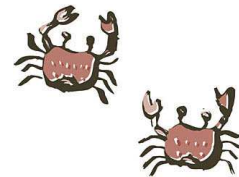
## 今後の塾のスケジュール

### ○7月8日(日) 中3生第1回統一模試

会場： 板倉学園 高田スクール

入室： 9：30～ 試験開始：10：00～

※ 当日は昼食、コンパス・定規が必要です。



### ○7月16日(月) 開校します

海の日ですが、開校しますのでご活用下さい。

### ○7月23日(月) 夏期講習スタート！！ (中学生・高校生対象)

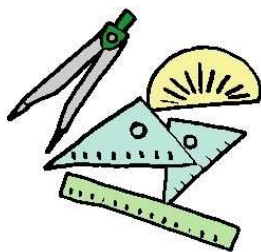
詳細は別紙にてお知らせしていきます。

## 教科書改訂について



“ゆとり教育”からの脱却というかたちで昨年度は小学校今年度より中学校でも正式に改訂された『学習指導要領』今までの教科書と比べ約**33%増**と大幅に増加しました。特に理科は各教科書会社平均で**45%**数学は**33%**と大幅な増加となりました。内容的には数学、理科をはじめとし従来まで発展的内容が通常の学習内容の扱いとなり全体的に**難度が高くなっています**。各教科についての特徴をご紹介します。

### 数学 ページ数平均**3割増**！



今まで発展的内容として扱われている「球の体積と表面積」(中1)「2次方程式の解の公式」(中3)などが復活し、その影響で今回の改訂で大幅な増加となっています。改訂の大きな特徴として説明力を重視する観点から単に計算問題を解かせていく流れでなく「言葉で説明しなさい」「公式を使って説明しなさい」などといった**思考力・表現力育成のページが充実**している点が目立っています。

### 理科 1分野・2分野から「学年別」教科書へ **大幅5割増**！

今までの1分野・2分野などの学習内容による4冊形式から学年別の3冊発行に変更されているのが大きな特徴です。今まで削除されていた「水圧と浮力(中1)」「地層の変化(中1)」「電力量(中2)」「陰極線(中2)」「イオン・酸・アルカリ・中和(中3)」「力の合成と分解(中3)」などがそれぞれ復活しています。特徴的なこととしては、学習

が生活に役立つことに気付かせる内容が取り入れられており「ガソリンで自動車を動かせるのは何故？」など**日常生活の中からの疑問を題材とする**ように様々工夫がなされています。



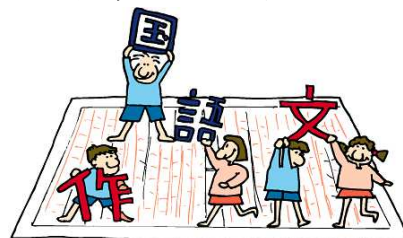
英語 単語数 900 語⇒1200 語へ(3 年間履修単語数) ページ数平均 2 割増！



昨年度より小学校で英語必修となったことが意識され中1の巻頭では「英語のあいさつ」や「会話表現」などの小学校の復習からはじまっています。語彙の定着を図ることをねらいとして「インターネット掲示板で英語で議論」という身近な設定の表現課題や読み物が増えています。コミュニケーション能力を養うことをねらいとした熟語表現も増えています。また英語で自分の意見を書いたり発表したりする内容も充実しています。

国語 近代文学作品の復活。平均 3 割増！

近代文学が復活し、夏目漱石「坊ちゃん」をはじめ、森鷗外、芥川龍之介、太宰治などの馴染みの作品が掲載されています。また最近の現代作家も登場し、中学生と同世代の子供達が主人公となっている小説が掲載されています。古典は大幅な変更はありませんが漢文については量が多少増えている程度です。また伝統的な言語文化として歌舞伎や狂言なども取り上げています。その他言語活動重視の視点で新聞の読み方などの紹介(記事の比較、社説の読み比べなど)がされていることも大きな特徴と言えます。



社会 地理・歴史・公民それぞれが約 2 割ずつ増！



地理は、世界・日本地理ともに全地域学習となり、地域別の項目が追加されています。歴史は、時代の特色となぜ移り変わっていくのかという流れを把握させていく内容となっておりとともに単元ごとにキーワードを使い短い文章で要点や自分の意見をまとめさせたりするような発展系の設問が掲載されてきています。今まで扱わなかった「四大文明」や「三大宗教」などの世界史事項の内容が復活しています。

公民は、昨今話題の栽培員制度の内容や仕組みが大きく取り上げられています。また単元ごとに導入部分において、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」という概念を用いて社会生活の問題に向き合わせる内容が用いられていることも大きな特徴と言えます。

